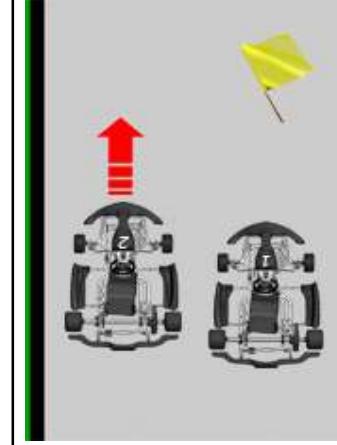
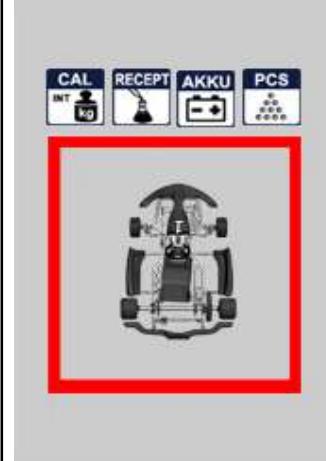
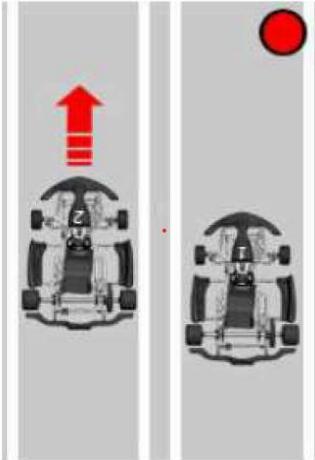
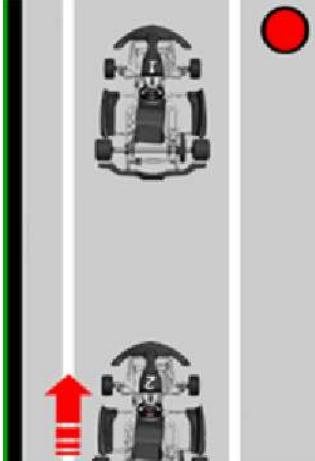


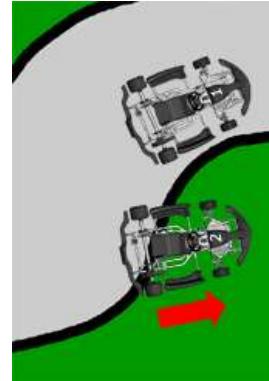
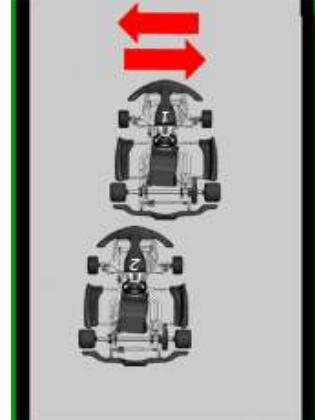
反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R01 フラッグ無視	<p>コースオフィシャルや競技委員から提示された旗（デジタルフラッグ含む）に従わないことをフラッグ無視とします。これは旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。</p> <p>一般的な違反は以下の通りです</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 黄旗区間での前車追い越しや減速せずに走行し、スピンや安全確認を怠る行為 2. 黄旗区間やその直前に、速度を落とさず前方のカートとのギャップをつめる行為 3. 黄旗が出ようとしているコース状態にもかかわらず、追い抜きをかける行為 4. オレンジボール旗、黒旗、他の旗等の提示を無視し、レースを続ける行為 5. 青旗の提示に対し走行ラインを譲らない行為 6. 白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない場合 7. 白地に赤×ボード無視（旗ではありませんが旗無視の対象とします） 8. チェッカー旗を受けたが安全なスピードまで落とさない場合や前車を追い越した場合 9. チェッカー旗を受けレース終了となったにもかかわらず、再度、コントロールラインを通過し 　　（チェッカー旗を2回受けた場合（ダブルチェッカー）） 10. チェッカー旗を受けたあと減速せずにスピンやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合 11. ペナルティボードを無視した場合 12. その他 <p>注1) ドライバーはレース中、フラッグを確認した際ドライバーサインを出すことを推奨します。</p> <p>注2) 黄旗提示に気がつかず、黄旗区間で追い越し行為をしようとした場合または追い越しをした後に同一周回においてドライバーサインを提示し、元のポジションに下がる行為の場合も 　　黄旗無視の判定は変わりません。</p> <p>注3) 黄旗区間で減速をせず、追い越し行為の他に危険走行をし、接触事故などの原因を 　　発生させた場合はさらに厳しく審議されます。</p> <p>注4) ニュートラリゼーション開始の合図や黄旗、他の指示旗や提示ボードを無視した場合や 　　減速違反も対象です。</p> <p>注5) イエローフラッグからグリーンフラッグ制導入の場合、グリーンフラッグ手前から追い越しや 　　追い越しをかける行為の場合、イエロー無視と同様のペナルティ対象となります。</p>		<p>フラッグ無視⇒ 旗の提示を無視しレースを継続した場合：ヒート失格 公式練習中についてはタイムトライアルの成績に反映</p> <p>黄旗時の追い抜き⇒ タイムトライアル時：対象ドライバーの成績タイム（ベスト1～3のいずれか、またはすべて）を抹消 ヒート中：1周減算 または、0.25～30秒加算 または、1～10ポジションダウン</p> <p>黒旗無視⇒レース失格</p> <p>ペナルティボード無視に関しても審議され、何らかのペナルティになる場合があります</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R02 白黒旗	<p>1.フォーメーションラップの隊列を乱すような行為には積極的に白黒旗が提示されます。その対象者はスタート後の白黒旗と累積になることはありませんが、スタートやり直しの原因とスタートを切る直前の周のアンフェアな行為によってペナルティやグリッド降格を受ける場合があります。スタート後に白黒旗を受けるような行為を2回繰り返した場合、黒旗が提示され競技長の元に出頭し確認後に競技裁定となります。</p> <p>2.危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。再度、その行為が繰り返された場合、白黒旗が累積2回となり黒旗が提示され、対象者は競技長の元に出頭し審議後に裁定となります。</p> <p>注) 白黒旗を提示する前に、ペナルティボードで警告をする場合があります。</p>	<p>注1) スタートを切る前の白黒旗は、スタート後のヒートに累積にカウントしません。</p> <p>注2) 白黒旗は2つのヒートにまたがって累積することはありません。</p>	<p>白黒旗1回目⇒警告</p> <p>同一ヒートで2回目⇒黒旗提示（ヒート失格）</p> <p>白黒旗は軽微なルール違反やマナー違反の際に提示します</p>
R03 走路妨害	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <p>1.公式練習やタイムトライアル中、走行ライン上でドライバーサインを出さず減速や加速、走行ライン交差を繰り返す危険な走行行為</p> <p>2.タイムトライアル中、他のカートのタイムアタックを妨害する行為</p> <p>注) 急なレーンチェンジも対象になり審議されます</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>タイムトライアル中の違反⇒成績に0.25～1秒加算</p> <p>または、対象ドライバーの成績タイム（ベスト1～3のいずれか、またはすべて）を抹消</p> <p>※ヒート中の悪質な走路妨害も審議対象になります</p>
R04 危険行為	<p>下記項目を危険行為とします。</p> <p>1.減速をせず無理な進入速度で走行し多重クラッシュを招く行為 ※順位変動問わず</p> <p>2.走行ラインを残さず危険なブロックによって相手をつぶす行為</p> <p>3.コース上に停止してしまいその後の対処に関してコースオフィシャルの指示に従わない場合</p> <p>4.停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらずドライバーサインも出さずに後続車通過前に再スタートする行為</p> <p>5.事故停止カートやコースアウトしたカートを放置し障害物とさせる行為</p> <p>6.コース上から競技中にコースを横断したり、他の選手に物を投げる行為</p> <p>7.コースを逆走し事故を招く行為</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p> <p>または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合⇒レース除外</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R05 車両違反 および 服装違反	<p>車両規定に定められた全ての部品装着していなかった場合や脱落した場合、 また、下記のような案件の場合を車両違反とします。レース前、レース中、レース後、発生する 時期は問いません。同様に利益が有るか無いかも問いません。ヒート後の車検時の状態を 判断の基準とします。</p> <p>一般的な違反は以下のものです</p> <ol style="list-style-type: none"> 規定重量不足や各ヒート後に車検を受けなかった場合 車両の改造や違反加工、間違った寸法や違反部品を使用していた場合 規定外燃料の使用、指定外オイルの使用、クーラント使用など車両規則を違反していた場合 競技使用タイヤへの違反加工、薬品の塗布など MOJOタイヤクラスは競技指定タイヤのローテーション違反の場合 エンジンやキャブレター、その他車両構成部品が指定されている部品（品番指定部品を含む） を使用していない場合、または、指定寸法以外の組付け状態であった場合 レギュレーションで定める必備の部品が脱落している場合 ドライバーの安全装備の不具合や脱落・未装着 車両申告書の記載内容と異なった装備品・車両を使用していた場合 吸気、排気装置のトラブルや脱落が発生してもレースを止めなかった場合 		<p>車両不具合、部品脱落、安全装備違反等⇒基本ヒート失格 または、成績に0.25～60秒加算</p> <p>公式練習中の違反⇒タイムトライアル成績にタイム加算 または、1～10ポジションダウン または、規則書に準じたヒート失格</p> <p>※吸気、排気装置のトラブルや脱落が あり競技を止めた場合⇒競技DNF ※競技を止めない場合⇒黒旗提示</p> <p>安全上問題があると判断した場合⇒オレンジボール旗の提示</p>
R06 ローリング隊列違反 および ヒーティング行為	<p>隊列のスピードを著しく乱す行為やフォーメーションラップの隊列を守れない走行、他車と接触 しそうな激しいヒーティング行為やブッシング等によって競技進行を遅延させた場合。 公式練習、タイムトライアル、その後の各ヒートに適用されます。</p> <p>先頭の2台は隊列を守りスピードを整える義務があります。また、各選手はPACE DOWNボード やPACE KEEPボードを確認しオフィシャルの指示に従わなければなりません。 この義務を怠った場合ペナルティの対象となります。</p> <p>注1) ヒーティング行為のペナルティは、指定された箇所から先でヒーティング行為をした場合が 対象となります。2列になる前のウォームアップ走行中のヒーティング行為は認めますが、 安全性確保が条件となり、他車の妨害や危険と判断される走行行為に対しては ペナルティが課せられます。</p> <p>※ニュートラリゼーション中のヒーティング行為は認められます。</p> <p>注2) 公式練習やタイムトライアルの中も対象です。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン</p> <p>悪質な場合⇒赤旗後に最後列へグリッドダウン</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R07 スタート隊列違反 (コリドーライン違反) 『誘導線の場合あり』	<p>スタート合図が出る前、2番のカートのように隊列から横に出て、コリドーラインからタイヤがはみ出す行為をスタート隊列違反(コリドーライン違反)とします。※スタートディレイになつても対象です <u>コリドーラインを超えた時点でペナルティとなり、超えた後にライン内に戻っても解消されません。</u> ※コリドーラインの右側でも左側でもはみ出す行為は違反になります。</p> <p>スタートタイミングは、イエローラインを超えるポールポジションから加速を始めスタートします。</p> <p>スタート後は、追い抜きのためコリドーラインからはみ出す行為は認められます。</p> <p>スタート後は、イエローラインを越えなくてもコリドーラインからはみ出しし、追い抜き行為を行うことは認められます。</p> <p>※コリドーラインの範囲に入った後でも、前車の失速（メカトラブルやかぶりなどにより車間が1台以上開く場合）や、前車との衝突を避けるための危険回避行為によってコリドーラインからはみ出す行為は認められます。</p> <p>またスタートが切られるタイミングを計り、前方のカートに追突しながらスタートする行為やその追突に伴い、隊列を乱すことを招く行為（危険行為ともいう）はペナルティとなります。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p><u>コリドーラインをタイヤ1本でも超えた場合⇒3秒加算～5秒加算</u></p> <p><u>4輪以上がコリドーラインを超えた場合、コリドーラインに入る意思がないまま走行した場合⇒10秒加算</u></p> <p>悪質な場合⇒5秒～10秒加算 または、ヒート失格 または、1～10ポジションダウン</p>
R08 スタートディレイの赤旗起因	<p>『赤旗起因』とはスタート前のフォーメーションラップ走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって競技を継続できないような原因を発生させ、スタートを遅延させることを指します。</p> <p>赤旗起因を発生させたドライバーは再スタートの際、最後尾（または最後列）に下がる場合があります。</p> <p>また、対象ドライバーが複数の場合、基本的にグリッド順はゼッケンナンバー順とします。</p>		<p>赤旗起因車両は、その状況によって審議され、対象台数によってはアウト・インが入れ替わってスタートする場合もあります。</p> <p>※危険行為と判断される場合もあり</p>
R09 ポジション復帰禁止エリアでの復帰	<p>ローリング走行中、ポジション復帰禁止エリア(コース図に指定箇所表示あり)を示すラインを越えてから、2番のカートのようにローリング中のカートを追抜き、自分のポジション復帰した場合。</p> <p>※ドライバーマナーとして元のポジションに戻る場合には、しっかり手を上げ、他車にアピールし安全に復帰することを心がけてください。強引に入り込んだり、隊列を大きく乱したり、接触事故を招いた場合、危険行為と判断されます。また、ポジションを空けない行為はペナルティの対象とします。また、前方のカートが車両トラブルで加速出来ないと判断した場合、その車両を追い越ししてもペナルティにはなりません。</p> <p>【ローリングの隊列に大きく遅れた場合】</p> <p>対象ドライバーに白地に赤X印のポジションボードとゼッケンナンバーを提示します。提示されたドライバーは隊列の最後尾へ付かなければなりません。</p> <p>ミススタートによる再スタートの場合でも、ポジションを戻すことは出来ません。</p>		<p>ヒート失格 または、成績に1～10秒加算 または、1～10ポジションダウン</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R10 ジャンプスタート および ニュートラリゼーション (イエローコーション) 解除後の 再スタート違反	<p>下記項目をジャンプスタートとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.スタートが切られる直前に2番のカートがアクセルを大きく踏みこみし加速することで1番のカートが遅れる行為。(上図 対象は2番) 2.1番と2番のカートの間にカート1台分以上のギャップを空け他のカートより早くスピードが上げられるよう狙った行為(下図) 3.リタイア等によって前方のカートがない場合の空席グリッドが確保されず、グリッド位置が前方につめられている場合 4.シグナルが消える前に自発的にスピードを上げスタートポジションを上げた場合 5.下図において、1番のカートが後方の隊列を無視し円滑なスタートが出来ないような場合 ※ポールポジションでも対象になります。 6.ニュートラリゼーションを解除する際、レース再開を指示するグリーンフラッグは、コントロールライン横のメインポストで振られます。競技再開後の追い越しは、コントロールライン通過後となり、コントロールラインより手前から追い越しを行った場合再スタート違反となります。 	 	<p>軽度⇒警告(白黒旗提示)</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>
R11 スタンディングスタート 時のジャンプスタート	<p>スタンディングスタートの場合、スタート合図より早くスタートすることをジャンプスタート(フライングとも言う)とします。</p> <p>スタート合図のシグナルがブラックアウトする前に、スタートを始める行為に適用されます。</p> <p>審議されレース後の成績に対しペナルティとなります。</p>	<p>映像判定とします</p>	<p>軽度⇒警告(白黒旗提示)</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R12 ショートカット	<p>2番のカートのようにコースから完全に外れ、走行距離が短くなった場所から再びコースに復帰することをショートカットとします。</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 2番のカートが順位を上げるか、その区間タイムが明らかに速かった場合 1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで被害を被った場合 1番のカートまたは、その他のカートが2番のカートが復帰することで順位を下げたり、リタイアした場合 <p>※停止しているカートや失速したカートとの接触を避ける危険回避行動の場合はこの限りではありません。必ずドライバーサインを出し、元のポジション付近に戻ってください。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>
R13 ジグザグやブロック走行 および レーンチェンジ行為	<p>1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。</p> <p>2番のカートから1番のカートが離れている場合や2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <ol style="list-style-type: none"> 後方にいるカートの位置を確認し、わざと走行ラインをずらし蛇行することをジグザグ走行といい、故意に進路変更する行為は審議されます。 ブロック走行行為により、競技が成り立たないと判断された場合に審議されます。 競技委員によって、スポーツマンシップに反する行為か否かをジャッジします。 競技中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に走行レーンを変え、後方カートの進路を妨害する走行を一般的にレーンチェンジと言い、レース中の悪質な走路妨害をブロック行為として審議されます。 <p>※ニュートラリゼーション中も適用されます。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p> <p>または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R14 カットイン コーナリング時の 走路妨害	<p>1番のカートが2番のカートの進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更することをカットインとします。これは双方のカートが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のカートが1番のカートの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番のカートのカットイン行為により</p> <ul style="list-style-type: none"> 2番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 2番のカートがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすかリタイアした場合 <p>※ 1番のカートが2番のカートの走行ラインを残し走行する場合はカットインと判断されません。 ただし、2番のカートが減速せず無理な突っ込みをした場合は2番のカートに対し審議対象となります。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p> <p>または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>
R15 エッジイン 無理な突っ込み	<p>2番のカートが走行ラインに十分なスペースがないのに、1番のカートの内側に入り強引に抜きにいくことをエッジインとします。またスピードを調整することなく、車両をコントロール出来ないような速度で突っ込む場合は悪質とみなし重いペナルティとなります。</p> <p>例1：スタート時の混雑からの無理やりなライン取り、強引な追抜きの場合など</p> <p>例2：適正な減速をすることなく、無理な突っ込みを行い、他車と接触する行為</p> <p>※順位変動があれば審議にて判断します</p> <p>2番のカートの多くの部分が1番のカートのイン側にいる場合、または2番のカートが接触を回避するために部分的にコース外にいる場合は問題ありません。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番のカートのエッジイン行為により</p> <ul style="list-style-type: none"> 2番のカートが順位を上げた場合 1番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 1番のカートがダメージを受け、同一ラップ中に順位を落とすか、リタイアした場合等 		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>または、ゼッケンとエッジインボード提示</p> <p>成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウン</p> <p>または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R16 プッシュアウト 幅寄せ	<p>1番のカートがラインを変更して2番のカートを完全または部分的にコース外に追いやることをプッシュアウトおよび幅寄せとします。これは双方のカートが接触したか否かは関係ありません。</p> <p>2番のカートが1番のカートの少なくとも1/3以上(2番の前輪が1番の後輪より前)の位置にいた場合に判断されます。</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>1番のカートのプッシュアウト行為により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1番のカートが順位を上げたとき ・2番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 ・2番のカートがダメージを受け同一ラップ中に順位を落とすか、またはリタイアした場合 ・1番のカートの行為が危険と判断された場合 <p>※ 1番のカートが2番のカートの走行ライン(車体1台分が基準)を残し走行する場合はプッシュアウトと判断されません。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示） または、ゼッケンと幅寄せボード提示</p> <p>成績に、0.25~10秒加算 または、1~10ポジションダウン または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒ レース除外</p>
R17 プッシング 後方からの接触	<p>2番のカートのフロント部分が1番のカートのリア部分に接触することをプッシングとします。</p> <p>また、ストレート走行中やコーナリング中に前車を押し出す行為に関しても同様とします。</p> <p>下記「ペナルティの判断」を考慮した結果、2番のカートが利益を得ない場合でも危険行為と判断された場合はペナルティの対象となります。</p> <p><対象となりやすいエリア></p> <p>コーナーへの進入区間、旋回区間などの後方からの接触が危険な箇所</p> <p>ペナルティの判断</p> <p>2番のカートのプッシングの行為により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2番のカートが順位を上げた場合 ・1番のカートが順位を落とすか、またはリタイアした場合 ・1番のカートがダメージを受け同一周回中に順位を落とすかリタイアした場合 ・2番のカートの行為が危険と判断された場合 <p>注1) フォーメーション走行時の低速走行中すべてと、タイムトライアル時もすべて対象です。</p> <p>注2) 1番のカートが失速などによって起因した後部からの接触はプッシングと判断しない場合があります。</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示） または、ゼッケンとプッシングボード提示</p> <p>成績に、0.25~10秒加算 または、1~10ポジションダウン または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒ レース除外</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R18 コース外走行 危険な復帰	<p>コース両脇に引かれたホワイトラインから、4輪をはみ出して走行する行為をコース外走行とし、その後コース内に復帰するドライバーモラルを判定いたします。</p> <p>1.コース外走行を複数回くり返す行為 2.コース外走行のあとコース内に復帰しようとして、後続カートが来ているにもかかわらず衝突するような危険な復帰 3.コース外走行のあとコース内に復帰しようとして、隣を走るドライバーがいるにもかかわらず、接触をまねくような危険な行為 ※他車との接触や安全を考慮し、止むを得ず自分からコース外に出た場合は対象となりません</p>		<p>タイムトライアル中の違反⇒1秒加算 程度によってはタイム（1～3）抹消</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1から10ポジションダウン または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>
R19 ピットエリア違反 および ピットロード違反	<p>下記項目をピットエリア、ピットロードでの違反行為とします。</p> <p>1.ピットエリアに入るため、ピットロードを走行中に減速しなかった場合、ピットロード徐行違反と判断されます 2.ピットエリアに向かったが、エンジン停止をせずにコースに復帰した場合、ピットスルーリスク行為と判断されます 3.指定ピットエリア外で作業したり、危険物を持ち込んだり、競技委員の注意を無視した行為、サインエリア外でのドライバー合図など、多くの場合がピットエリア違反行為と判断されます 4.ピットエリアからの再スタート時、押しがけサポート区間を過ぎても登録ピットクルーがサポートを継続した場合</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p>
R20 車載カメラに関する 違反行為	<p>1.申請用紙を提出せず取り付け 2.申請用紙を提出したが指定外箇所に取り付け 3.申請用紙を提出した後、カメラを取り外したが車検長に申告をしなかった場合 4.接触事故等によってカメラ脱落した場合は審議対象</p>		<p>ヒート失格 ※警告の場合あり</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R21 ダミーグリッド	<p>下記項目の場合、ダミーグリッド違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ダミーグリッドおよび本コース上でスタートを待つ間、工具を用いた車両整備を行った場合 ただし、日よけ行為は可。 注) エアーゲージ使用は可。 エアーを送る機能器具使用は不可 ダミーグリッドに入ったあと、競技委員の指示を無視し不正と思われるような行為をメカニックが単独で行った場合 指定した時間内にダミーグリッドに入らなかった場合 赤旗中断後、競技委員から指示が出る前に工具を用いた車両整備を行った場合やケミカル用品を使用したり、給油を行った場合 ダミーグリッドからのスタート時、押しがけサポート区間を過ぎても登録ピットクルーがサポートを継続した場合 	<p>左記事項は、登録メカニックが行った行為でも、ドライバーに対しペナルティが課せられます。</p> <p>また、メカニック本人に罰金などの裁定を行う場合があります※この時はドライバーペナルティは対象外です</p>	<p>ヒート失格</p> <p>または、成績に、0.25～10秒加算</p> <p>または、1～10ポジションダウンの場合もあり</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p> <p>※メカニック罰金の場合、金額はエントリーフィー同額程度</p>
R22 パドック、ピットでの暖気運転 エンジンから吹かし	<p>下記項目をパドック・ピット内で行なった場合、違反行為とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> パドック内、ピット内や指定外の場所で暖気運転やエンジンから吹かしを行なった場合 違反と判断されます ドライバー、ピットクルー、メカニック、参加選手の関係者等、誰でも違反行為をすれば、対象になる参加ドライバーにペナルティが与えられる場合があります 違反行為が公式練習前に発覚した場合、次ヒートにペナルティが適用されます ※次ヒートとはタイムトライアルの成績が対象です 		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格</p> <p>他の違反行為と重複した場合等⇒レース除外</p> <p>※公式練習中の違反行為の場合⇒タイムトライアルの成績に反映</p>
R23 フロントフェアリングペナルティ	<p>指定品番装着のフロントフェアリングが、接触やその他の理由によって正規な位置よりはずれた場合、理由にかかわらず規定のタイム加算ペナルティとなります。</p> <p>また、起因の内容によっては追加のタイム加算ペナルティがります。</p> <ol style="list-style-type: none"> フロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合 フェアリングを固定するクランプが正規の取り付け状態でなかった場合 フェアリング本体への加工、改造(車検長判断となります) 走行中のフェアリング位置修復、車検待ちの間にフェアリング位置修復作業 詳細に関しては、特別規則書や公式通知を参照してください。 		<p>左記1の場合⇒ タイムトライアル中：成績に0.25～1秒加算 または、タイム（1～3）抹消 レース：成績に5秒加算</p> <p>左記2・3の場合⇒ヒート失格</p> <p>左記4の場合⇒レース除外</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
R24 その他の競技違反	<p>1.公式練習に参加する意思がなかった場合、当該レース除外とします 2.競技委員に申告せず、無断で計測装置やエンジンを変更した場合 3.ピット・パドックで火気を扱ったり、喫煙した場合</p> <p>※基本、火器の使用は禁止ですが、主催者に確認し認められる暖房器具の場合は問題ありません。喫煙場所以外、特にパドックでの歩きタバコや整備中のくわえタバコが発覚した場合、その対象ドライバー、ピットクルー、メカニックに1回目は警告、2度目の行為が発覚した場合はペナルティがります。</p> <p>4.ドライバーズブリーフィング(ミーティング)を不参加した場合は罰金 5.競技中、許可なく給油した場合「ダミーグリッド、ピットエリア、他」 6.タイヤを器具や暖房機によって故意に温める行為 7.チームやドライバー間で、順位を故意にコントロールする悪質な行為 8.レース本規則や追加・新規公式規則に関する事項を守らなかった場合 および、公式通知に関する事項を守らなかった場合</p>		<p>軽度⇒警告 または、罰金（エントリーフィー同額程度）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン</p> <p>レース中に許可なく給油した場合⇒ 当該ヒートの出走を認めない または、当該ヒート失格</p> <p>タイヤを器具や暖房機によって温めた場合⇒ 公式練習前：タイムトライアルのタイム抹消 各ヒート前：当該ヒートの出走を認めない</p> <p>悪質な場合⇒ヒート失格 または、レース除外 または、競技施設からの退去指示</p>
R25 ドライバーモラル 暴力行為等	<p>1.ドライバーサインを出さない場合 2.競技役員、コース委員・オフィシャルからの指示を無視した場合 3.走行中に、競技相手を挑発したり威嚇する行為をした場合 4.競技会場での言葉による脅しや侮辱、中傷、威圧、暴力行為をした場合 5.パドックでの常識外の場所取りや禁止区画への車輌の乗り入れ等 6.競技の裁定や運営に対し、理由も聞かず競技関係者に怒鳴り込んできたり、威圧したり、根拠のないクレームを言ったり、暴言を吐くドライバーやエントラント、メカニックの行為 7.競技規則を読まない、理解しないで競技委員にクレームを入れる行為 8.工具やケミカル用品を持って（またはカートに搭載したまま）走行した場合 9.他のチームブース（テント等）に許可なく立ち入る行為や盗撮、盗難に属する行為</p>		<p>軽度⇒警告（白黒旗提示）</p> <p>成績に、0.25～10秒加算 または、1～10ポジションダウン または、当該ドライバー成績順入れ替え</p> <p>悪質な場合⇒当該ヒート失格 または、レース除外 または、競技施設からの退去指示</p>

反則行為	解説	図解	ペナルティ判断
抗議	競技判定に関する抗議は、ヒート終了後30分以内までとします		抗議料 ￥22,000-

R1からR25までのペナルティジャッジは目安ですので、記載されていない行為でも大会競技審査委員やスチュワード・ジャッジによる審議の判定によりペナルティとなる場合があります。 また、競技役員やレース大会の格式によって表記のペナルティとは違う判定の場合もあります。

【 判定は複数名の競技委員の審議によって決定し、リザルトに反映されます 】

※ 1.レース競技状況によりペナルティの判定が遅れ、ヒート終了直後にリザルトを発表出来ない場合があります。

※ 2.暫定結果から正式結果を決定する際、ペナルティの判定等によって成績が変動する場合があります。

※ 3.大会に参加する選手は、判定を受けたペナルティに関し真摯に受け止めなくてはいけません。

ペナルティーカタログ作成の主旨

競技の安全と参加者の信頼を得る運営進行を最優先と考え、ドライバー・エントラント、主催者・オフィシャルすべてがスポーツmanshipを持ち、本大会へ挑む事がポリシーと考えています。大会に関連する参加者すべてのマナー向上と安全で公平なレース運営を目指します。